

## 第 2 回和光市食育推進計画策定委員会

(株)地域計画連合・田口・091203 作成

### 概要

開催日時	平成 21 年 12 月 3 日 (木) 13:30 ~ 15:30
開催場所	和光市役所 5 階 503 会議室
出席者の氏名 (敬称略)	委員：草間委員長、山口副委員長、中野委員、木下委員、近江委員、波間委員、熊本委員、谷委員 事務局：市川健康支援課長補佐、上垣内慶子(管理栄養士) 支援業者：中居、田口(記録)(株式会社 地域計画連合)
欠席者の氏名	勝海委員、加藤委員
議題	1. 開会 2. 協議内容 1) アンケート調査結果報告 2) ワークショップ実施報告 3) 骨子案について 4) その他 3. 閉会
資料	・ アンケート調査票 ・ アンケート調査結果報告 ・ ワークショップ関連資料 ・ ワークショップ実施報告 ・ 骨子案 ・ 施策体系表及び事業 ・ 「食育の指標」(当日配布)
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録

### 議事要旨

<p><b>1. 会議内容の要点記録</b></p> <p><b>協議内容 1) アンケート調査結果報告</b></p> <p><u>食に関する情報提供</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関心の高い結果となった「生活習慣病予防などのための料理教室」について、情報提供を充実させ参加促進を図る方向で検討する。</li> </ul> <p><u>報告書のレイアウト</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート調査報告書の「属性 4」(19p)に、地区の位置を参照できるような地図(「健康わこう 21 計画」エリア地図)を掲載する。</li> </ul> <p><b>議題 2. ワークショップ実施報告</b></p> <p><u>学校の調理設備・調理器具の不足</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校で食器や鍋などが足りない現状については、2 班に参加していた学校教育課の栄養士に、後日詳細を確認する。</li> </ul>
---

### 小学校・幼稚園・保育園の食育に関する取り組み

- ・小学校・幼稚園・保育園の教職員全体の意識の差をなくし、食育に対する意欲の差によって取り組み内容にばらつきを出さないように、庁内調整会議で検討する。

## **議題 3 . 骨子案について**

### 「第 4 次和光市総合振興計画」における食育の位置づけ

- ・現在策定中の「第 4 次和光市総合振興計画」において、健康支援課としては母子保健事業などとあわせて、食育推進を施策の柱とし、今後 10 年間で食育の推進を図っていく。

### 和光市食育推進ネットワーク会議の構成メンバー

- ・「和光市食育推進ネットワーク会議」における、一般市民や障害者の参加を検討する。

### 「2 . 食育をめぐる現状と課題 2) 今後の課題 「学び・体験が日常生活に活かされるような取組が必要です」

- ・バランスの良い食事のあり方について、課題もしくは施策に盛り込む方向で検討する。

### 「農」に関して

- ・市内の農産物販売について、ネットを使わない人への対応も含めて情報提供のあり方を検討する。

### 「痩せ」に関して

- ・痩せに関するデータの追記を検討する。

### 「口腔」に関して

- ・施策体系系に、市の口腔に関する事業を追加する。

### 「基本目標 3- 施策 2 . 食の安全に関する情報提供」に関して

- ・食の安全に関する情報提供について、アレルギーや食品添加物も含めて提供するよう検討する。

### 食育に関する事業の拡大

- ・今後、市として食育に関する事業の充実をはかり、実施に向けて予算確保も含めて各課での検討を進める。

### 「20 ~ 30 代の年齢層」に関して

20 ~ 30 代という一番食育に関心のない世代への情報提供のあり方を検討する。

## **議題 4 . その他**

### 議事録の委員への送付

- ・第 1 回及び第 2 回の策定委員会の議事録を、各委員へ送付する。

### 今後の予定

- ・12 月中に庁内調整会議、1 月中旬からパブリックコメントを行う。本日の策定委員会及び庁内調整会議での意見結果を踏まえて修正した骨子案を、パブリックコメントに提出し、あわせて各委員へ提出する。各委員の意見とパブリックコメントで出された意見とをあわせて事務局側で骨子案への意見反映を行い、2 月中旬の策定委員会にて、内容を確認頂く。

## **2. 発言者の発言内容ごとの要点記録**

### **議題 1 . アンケート調査結果報告**

#### 対象者の抽出

副委員長：回答者の男女の比率は、和光市の男女の比率と同じ程度か。

事務局：現在データが手元にないため、すぐにはお答えできない。抽出において性別や年齢については考慮していない。ただし、地域ごとに均等に配布されるように、また同一世帯に調査票が複数配布されないように事前に調整を行った。

#### アンケート調査の解析結果

木下委員：市の事業である「男性のための料理教室」への参加が少ないが、アンケート調査結果の「問 16. (「現在食育に関する活動をしている」・「活動したことがある」・「今後、活動したい」のいずれかに回答した方で) 今後、どのような食育に関するボランティア活動に参加してみたいと思いますか」について、「生活習慣病予防などのための料理教室」と回答した人について、特に 60 才以上の高齢者がどの程度回答したのか知りたい。

委員長：木下委員の質問と関連するが、アンケート結果はどのような解析方法を行ったのか。

事務局：結果については、性別・年代・在住年数等で、クロス集計を行った。特に、年代及び性別により、傾向が明確に出たため、骨子案「2. 食育をめぐる現状と課題 1) 本市の食や健康をめぐる現状 (3) 和光市の食生活の現状」(14～17p)で分析を記述している。クロス集計の結果は、資料として委員の皆様提供することは可能である。

#### 食に関する情報提供

木下委員：調査により「生活習慣病予防などのための料理教室」に関心が高いということは分かった。人は、見たり聞いたりすることよりも、体験することが一番理解しやすいので、今後はぜひ「男性のための料理教室」などのような教室を実施してほしい。PR 不足もあると思うが、現在は参加者が非常に少ない。

委員長：「男の料理教室」でも課題となっている情報提供に関しては、骨子案の「基本目標 3「日々の暮らしに活用できる情報が身近にあるまち」(24p)につながっている内容となっている。

木下委員：特に、高齢の男性は家に引きこもりがちであるため、そのような人達が参加しやすいようにしてほしい。

#### 報告書のレイアウト

委員長：アンケート調査の「属性 4」(19p)で地区が 12 地区に分かれているが、この形式では市外の人に分かりにくいいため、アンケート調査報告書の「属性 4」(19p)に、地区の位置を参照できるような地図(「健康わこう 21 計画」エリア地図)を掲載してはどうか。

事務局：指摘頂いた形で修正する。

## **議題 2 . ワークショップ実施報告**

#### グループのメンバー構成・検討結果

委員長：3 グループに分かれているが各グループに参加者の特徴が偏らないように調整したのか。

事務局：できるだけ同じような活動をしている人が重ならないようなグループ分けを行った。

委員長：グループでの議論結果は、各グループ単位でまとめ、全体でのまとめは行わなかったのか。

事務局：当日は各グループの結果について発表・共有した。また、議論結果は、骨子案の「2. 食育をめぐる現状と課題 1) 本市の食や健康をめぐる現状 (5) 和光市内の食育に関する活動の状況」(20～21p)や「2. 食育をめぐる現状と課題 2) 今後の課題」(22p)において、

情報提供の必要性などについて反映させている。

#### 学校の調理設備・調理器具の不足

木下委員：「和光市食育推進計画づくりに関するワークショップ報告」の2班の検討結果の中に「学校の調理設備や調理器具が不足している」と記述されている（6p）が、具体的にはどのようなものが足りないのか。

副委員長：食器や鍋などが足りず、結果として料理教室などは公民館を使って行っている。学校では、家庭科での実習も、ご飯を炊く・サラダを作る・みそ汁をつくるといった程度しかできない。

事務局：2班には参加者に学校教育課の栄養士がいたため、現場の生の声が意見となったのではないかと思う。意見の詳細については、後日確認する。

近江委員：子どもの調理実習の話聞いていても、「大丈夫なのか」と不安に思うことがある。

#### 小学校・幼稚園・保育園の食育に関する取り組み

熊本委員：教職員の食育に対する意欲の差により、取り組み内容にばらつきが出ている。例えば新倉小学校は熱心だが、それ以外の小学校ではそこまで熱心ではない。和光市全体の小学校や幼稚園・保育園の教職員全体の意識の差をなくして、同じように行ってほしい。

事務局：市内では、保育園ではみなみ保育園としらこ保育園が、保育士と管理栄養士が定例的に会議などを設けていると聞いている。また小学校では、新倉小学校は熱心と聞いている。庁内調整会議には、学校教育課も参加するため、各学校間でばらつきが出ないようにしていきたい。

### **議題3. 骨子案について**

#### 第4次和光市総合振興計画」における食育の位置づけ

事務局：現在策定中の「第4次和光市総合振興計画」において、健康支援課としては母子保健事業などとあわせて、食育推進を施策の柱としており、今後10年間で食育の推進を図っていく方針である。また、現在開催中の議会で、議員より食育推進計画の進捗状況と今後について質問を頂いている。今回の食育推進計画においては、特に和光市の地域特性を生かした内容にしたいと考えており、委員の方々に意見を頂きたい。

#### 和光市食育推進ネットワーク会議の構成メンバー

熊本委員：「1. 計画策定の背景と基本的事項 2) 和光市食育推進計画の基本的事項 (4) 計画の推進と評価 「和光市食育推進ネットワーク会議」を立ち上げます」(6p)に、会議のメンバー構成が示されているが、メンバーの中に市民もいれるべきだ。公募の市民が参加することにより、一般の人の声を吸い上げることが可能となる。

副委員長：メンバーに障害者の方も参加されるとよい。障害者の親は、子どもが騒ぐと大変になるからと食べたいだけ食べさせてしまうので、障害者が太ってしまう、という問題がある。

谷委員：「2. 食育をめぐる現状と課題 2) 今後の課題」(22p)に、「意識調査の結果から20~30代を中心に乱れる傾向にあり...」という記述があるが、特に独身で20~30代の人々が食事に関心がなく、食生活に問題がある世代であると思う。和光市は独身寮などが多く、特にそのような人達が多いので、会社の団体などに和光市食育推進ネットワーク会議の中に入れてもらうことはできないか。

委員長：和光市の食育の推進体制において、職域の人達に「和光市食育推進ネットワーク会議」

に参加してもらうことはできないか。

事務局：職域の方の参加については、ワークショップへの参加などについても参加を強く呼びかけたが、実現に至らなかった経緯がある。そのため、「和光市食育推進ネットワーク会議」にはぜひ参加して頂きたいが、現実的には難しいのではないかと考えている。

「2. 食育をめぐる現状と課題 2) 今後の課題 「学び・体験が日常生活に活かされるような取組が必要です」

木下委員：「2. 食育をめぐる現状と課題 2) 今後の課題 「学び・体験が日常生活に活かされるような取組が必要です」(22p)の文章内容では、野菜中心という印象を受ける。毎日の食事は、野菜だけではなく肉・魚・海草なども食べる必要がある。バランス良くきちんと食べる必要がある。

委員長：先ほど事務局から説明があったように和光市の地域特性を踏まえて、野菜が記述されているのではないかと。木下委員が指摘された内容であれば、むしろ一番目の項目かもしれない。

事務局：委員長のご指摘のように和光市の地域特性を踏まえて、野菜を出している。課題よりも、むしろ施策に盛り込む内容とも思う。

「農」に関して

委員長：農に関する記述は十分か。

波間委員：内容としては十分に書いてある。

事務局：庭先販売などの農産物の直売所があると共に、スーパーなどでの和光市産の農産物販売も行われているが、どのように行われているのか。また、イトーヨーカ堂以外で行っているのか。

波間委員：イトーヨーカ堂への出荷組合がある。契約して和光市産の農産物を売っており、地産地消が進んでいると感じる。直営センターは、市・JA(農業協同組合)・農家で話し合って立ち上げた。その他に、農産物の出荷を店と個別に契約している農家や、生協・らでいっしゅぼーや等と取り決めて出荷している組合もある。自分自身はスーパーに出荷はしておらず、庭先販売の出荷に力を入れている。畑の近くに販売機を置いている。庭先販売の方が、買ったたかれないメリットがある。

近江委員：消費者の立場としては、作っている人を知った上で購入できる「顔が見える関係」を求めている。庭先販売などの情報をもっと提供されるとよいのではないかと。

波間委員：農家がホームページに情報を掲載するなどしている。

近江委員：デジタルデバインドと言われるように、(ネットを)使える人は情報を得られるが、使えない人は情報を得られないという問題がある。使えない人への情報提供のツールが必要だ。

「痩せ」に関して

副委員長：骨子案「2. 食育をめぐる現状と課題 (2)和光市の食生活や健康の現状」(12~13p)で、「成人の肥満」と「女性若年層の痩せ」が取り上げられているが、記述では肥満に関してのみ取り上げられている。ダイエットに走り拒食症になってしまう人の状況など、痩せに関するデータはないのか。

事務局：「2. 食育をめぐる現状と課題 (2)和光市の食生活や健康の現状」(12p)の3段落目の文章で、痩せについては記述しているが、データとしては具体的なものは載せていない。

委員長：「健康わこう 21」のデータで、今回の計画に活用できるものはないのか。もしくは、デ

ータが基本健康診査によるもので結果に偏りがあるため、扱っていないのか。

事務局：指摘頂いた通り、「健康わこう 21」のデータは母数が非常に少ないこともあり、今回は県のデータ等を使用した。

#### 「口腔」に関して

委員長：歯科に関して、中野先生はどのようなご意見か。

中野委員：現在は、口の悩みに関する相談を毎年行っているが、関心の高い人のみの参加になっており、今後どのように展開していくか検討している。食育に関して歯科がどのように関わられるのか考えていたが、虫歯の問題だけを扱うだけではなく、食生活についても指導を行う、また学校での職員向けの歯科研修・市民向けの研修や講演会などをしていければと思っている。例えば、6月8日の虫歯予防デーなどの機会に話をできればよい。

委員長：施策体系案に、歯科関係の事業は含まれないのか。

事務局：市の口腔に関する事業としては、歯周疾患検診などが挙げられる。今回は、内容に入っていないが、体系案に追加する方向で検討する。

副委員長：高齢者の食に関する指導で「良く噛むこと」なども話すので、口腔系の事業はぜひ追加してほしい。

#### 「基本目標 3-施策 2 . 食の安全に関する情報提供」に関して

近江委員：施策体系案「基本目標 3-施策 2 . 食の安全に関する情報提供」については、「消費生活展」が挙げられているが、アレルギーの問題や食品添加物の怖さにも加えてほしい。

事務局：現時点では、既存事業として挙げられている「消費生活展」のみを入れている。どの様な情報を提供するかという内容については、今後の検討課題としたい。

#### 食育に関する事業の拡大

木下委員：施策体系案「基本目標 1-施策 2-基本事業 1「子どもと保護者の調理体験の実施」」について記載されているが、これ以外にも事業があるのか。

事務局：施策体系案には、基本的には既存の全ての事業が網羅されている。

木下委員：事業として少ない印象を受ける。今後市として増やしていく方針なのか。

事務局：今後、食育に関する事業の充実をはかり、実施に向けて予算確保も含めて各課で検討する方針である。

#### 「20～30代の年齢層」に関して

委員長：20～30代の一番食育に関心のない世代に、何らかの形で情報を提供するなどの取り組みが必要だろう。

副委員長：ネットワーク会議に入ってもらうことは難しくても、こちらから情報を投げかけることは可能だと思う。

委員長：それでは、和光市食育推進ネットワーク会議への参加等も含めて、事務局に検討頂くこととする。

## **議題 4 . その他**

#### 議事録の委員への送付

熊本委員：前回の策定委員会での議論結果をどのように計画に反映させたのか確認できるように、今後は議事録を提出してほしい。

事務局：議事録は、委員の皆様にご送らせて頂く。また今後、市役所の行政資料コーナーや図書館

でこれから公開する。

今後の予定

事務局：12月中に庁内調整会議、1月中旬からパブリックコメントを行う予定である。そのため、本来であればパブリックコメント前に、修正した骨子案を策定委員会で議論頂くべきであるが、スケジュール上開催が難しいため、本日の策定委員会及び庁内調整会議での意見結果を踏まえて修正した骨子案を、パブリックコメントに提出し、あわせて委員の皆様には、パブリックコメントの期間中に意見を頂き、パブリックコメントで出された意見とあわせて事務局側で意見の反映を行い、2月中旬の策定委員会にて、確認をお願いしたいと考えている。

< END >